



# ふくやま 東西北警察署 管内犯罪情報通信

No.122

2015.4.27

発信元 東学区防犯組合

H27年 4月 ~県警メールより抜粋~

**最近、福山市内の高齢者（女性）を狙った詐欺事案が多発しており、高額のお金を騙し取られる被害が続いております。**

◎**アポ電話**：犯人は最初に電話口でこちらの対応（反応）を確かめるために「電話番号が変わった」「風邪を引いて声が変わった」などと伝える「アポ電話」をかけてきて、すぐに現金の要求はしてきません。



電話での反応が犯人の思うつぼであれば、後日もっともらしい理由をつけて現金を要求してきます。その内容の主なものを挙げます。



- ① 不倫をして相手の女性を妊娠させた。主人にばれて示談金が必要。
- ② 株式の投資で会社の金を使い込んだ。監査が近日中にある。ばれたらクビになるので、穴埋めする金が必要。
- ③ 友人の連帯保証人になっていたが、友人が会社の金を使い込んで逃げてしまった。連帯保証人の私が弁償しなければ会社を辞めさせられる。

その他、最近増えてきている手口として、

- 「臨時福祉給付金」や「子育て世帯臨時特例給付金」など手続きを装った手口
- 「老人ホームの入居権を譲って下さい」など名義貸しの依頼
- 「医療費の還付金があります」
- 「支払いはコンビニのプリペイドカードで」と言って買わせる。
- 「必ず儲かります」といった投資の話



などなど、色々と手を替えもっともらしい話をしてきます。

**市・区・町の職員が給付金等の支給や払い戻しの手続きに ATM を使わせることは決してありません。騙されちゃあいけんで～！！**

**電話でお金のお話が出たら、騙されないですぐに**

**110番してえな！！**

